


1. 事業説明シート

事業名	砂防事業 [火山砂防事業 (国補)]	事業箇所	北杜市大泉町西井出	地区名	甲川	事業主体	山梨県																																						
(1) 事業の概要				(3) 事業の妥当性評価																																									
①課題・背景 本溪流は、流域面積0.09km ² の土石流危険溪流であり土砂災害警戒区域が指定されている。山腹崩壊が認められるとともに、河床勾配は急勾配で渓床部には火山性堆積物が多く堆積しており、台風や集中豪雨時には土石流発生の危険が高まっている。また、該当地区は砂防施設が未整備であり、保全対象には人家50戸、市道652m、公共的建物1箇所 (大泉高原ハヶ岳ロイヤルホテル) が存在しているため、土石流が発生すると甚大な被害を及ぼす可能性がある。このため、砂防堰堤を早急に設置し、土砂災害を未然に防止する必要がある。				妥当 妥当でない ①公共関与の妥当性 (行政が行うべき事業か) 砂防法第5条に基づいており、行政が行うことが妥当 <input type="radio"/> <input type="checkbox"/>																																									
②整備目標・効果 <input type="checkbox"/> 主要目標 <input checked="" type="checkbox"/> 土石流被害の防止 ・災害実績 無 ・土砂整備率 0% < 70%※ ・重要公共施設の有無 無 (保全対象=人家50戸、市道652m、公共的建物 (大泉高原ハヶ岳ロイヤルホテル)) <input type="checkbox"/> 副次目標 ー <input type="checkbox"/> 副次効果 ー				②事業執行主体の妥当性 (県が行うべきか) 砂防法第6条に基づいており、砂防管理者の県が行うことが妥当 <input type="radio"/> <input type="checkbox"/>																																									
(2) 整備内容 ①整備内容 ・砂防堰堤 1基 H=8.0m L=88.0m ②着手年度 令和7年度 ③完成見込年度 令和16年度 ④総事業費 約460百万円 (国費253百万円 (5.5/10) 県費207百万円 (4.5/10)) ⑤年度別の整備内容 (事業費) 令和7年度 詳細測量、詳細設計、地質調査 20 百万円 令和8年度 用地測量、用地調査、用地取得・補償 20 百万円 令和9年度 管理用道路工事・砂防堰堤工事 60 百万円 令和10年度 砂防堰堤工事 60 百万円 令和11年度 砂防堰堤工事 50 百万円 令和12年度 砂防堰堤工事 50 百万円 令和13年度 砂防堰堤工事 50 百万円 令和14年度 砂防堰堤工事 50 百万円 令和15年度 砂防堰堤工事 50 百万円 令和16年度 砂防堰堤工事 50 百万円 ※記載内容は見込みであり、確定したものではない。				③経済妥当性 <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>総事業費</td> <td>460 百万円</td> <td>工期</td> <td>R7~R16</td> <td>基準年</td> <td>R6</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">経済効率性</td> <td>費用</td> <td>368 百万円</td> <td>便益</td> <td colspan="2">2877 百万円</td> </tr> <tr> <td>建設費</td> <td>366 百万円</td> <td>一般資産被害抑止</td> <td colspan="2">834 百万円</td> </tr> <tr> <td>維持管理費</td> <td>2 百万円</td> <td>公共土木施設被害抑止</td> <td colspan="2">28 百万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>人身被害抑止</td> <td colspan="2">17 百万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>その他※</td> <td colspan="2">1998 百万円</td> </tr> <tr> <td colspan="3">B/C</td> <td colspan="3">7.8</td> </tr> </table> ※その他は、応急対策 (家計)、人的被害 (精神的損失) 費用便益比 (B/C) は、国の採択基準1.0を超えている。				総事業費	460 百万円	工期	R7~R16	基準年	R6	経済効率性	費用	368 百万円	便益	2877 百万円		建設費	366 百万円	一般資産被害抑止	834 百万円		維持管理費	2 百万円	公共土木施設被害抑止	28 百万円				人身被害抑止	17 百万円				その他※	1998 百万円		B/C			7.8		
総事業費	460 百万円	工期	R7~R16	基準年	R6																																								
経済効率性	費用	368 百万円	便益	2877 百万円																																									
	建設費	366 百万円	一般資産被害抑止	834 百万円																																									
	維持管理費	2 百万円	公共土木施設被害抑止	28 百万円																																									
			人身被害抑止	17 百万円																																									
			その他※	1998 百万円																																									
B/C			7.8																																										
				④事業実施・規模の妥当性 <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 流域の規模、地形、地質等から判断して最も効果的である																																									
				⑤整備手法の有効性 <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 土石流対策として、砂防堰堤の設置が最も効果的である																																									
				⑥環境負荷等への配慮 <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 掘削法面等に緑化等を行い環境負荷に配慮する																																									
				⑦事業計画の熟度 <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 地元の要望に基づいており、地域の同意は得られている																																									
				総合評価 [貢献度ランク: b]																																									
⑥既整備内容・期間・事業費 なし				(4) 事業位置図等 																																									

2. 添付資料シート

【流域概要図】



【航空写真】

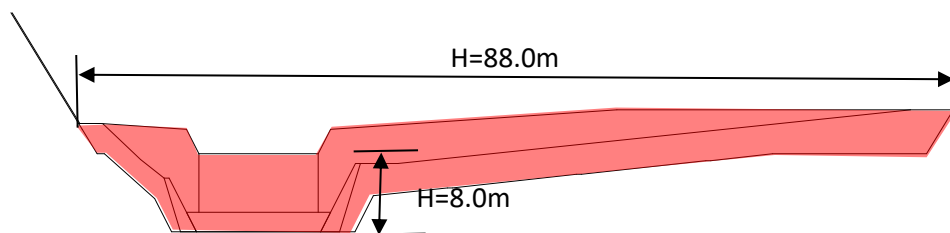


【凡例】

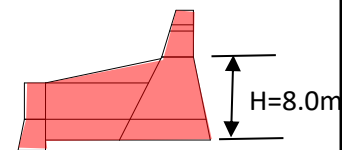
- 計画砂防堰堤
- 流域境界
- 土砂災害警戒区域
- 土砂災害特別警戒区域
- ▲ 計画基準点

写真
④

正面図



側面図



【荒廃状況写真】



①ダムサイト付近



②計画基準点付近

【保全対象写真】



③人家及び市道



④公共の建物

(大泉高原八ヶ岳ロイヤルホテル)